



泉水山

真庭市立河内小学校だより
R8年度 第10号
令和8年7月2日(木)発行

ご参観ありがとうございました

6月25日(木)は、今年度2回目の参観日でした。前回4月の参観日の時より、張り切りつつもリラックスした表情で学習に臨んでいる子どもたちの様子を見ていただけたのではないかと思います。

子どもたち同士で頭を突き合わせて考えたり、時にはおうちの方も一緒に考えてくださったりと、「協働」する姿もたくさん見られました。学級懇談の場では、子どもたちの学校や家庭での様子についての情報交換や、夏休みの暮らしについての確認がなされていました。

また、PTA保健委員会主催の救急法講習会にも大勢の保護者の方がご参加くださり、ありがとうございました。



「心と命のサポート事業」



6月22日(月)、4・5・6年生が「心と命のサポート事業」による出前講座を受講しました。講師として来校してくださった岡山大学大学院の田淵泰子先生から、「環境が変化する時、心はがんばっている。」「心と身体は一体で、心が苦しいと、一生懸命身体に訴えかける。」ということをお話しました。そして「ストレスとは一生付き合っていくことになる。」

なる。ストレスを悪者にしないで、うまく付き合っていくことが大切です。」「この人になら、と思える人に、勇気をもって話してみてください。」と語りかけてくださいました。

これまで心やストレスについてのお話を聴く機会はあまりなかったため、子どもたちはとても新鮮な心持ちでお話を聴いていました。田淵先生は、心を柔らかいボールにたとえられましたが、一時的にストレスによってボールがへこむことがあっても、潰れてしまったり破れてしまったりしてしまわないように、自分でうまく対処できる方法を探していくことが大切だと学びました。

「いじめについて考える集会」

6月23日(火)、「いじめについて考える集会」をワークショップ型で行いました。たてわり班でできるだけ高い新聞紙タワーを作るという活動を通して、自他の存在を大切にしたり、協力するとはどういうことか学んだりしようというものです。「優しい声かけ」「譲り合い」「負けても切り替え」「失敗を認める」の4つをめあてとして意識しな



がら、取り組みました。

1位のチームはなんと225センチという大作を完成させました。活動後の振り返りでは、4つのめあてそれぞれの MVP を選び合いました。

最後の感想発表の場面で1年生児童が発表を始めると、誰に言われるでもなく、多くの子どもたちが自然と体を向けて聴き始めました。その姿を見て気づいた子も、次々と同じように向き直していきました。相手を大切に作る心が、こんなさりげない場面にも表れていることに、とても温かい気持ちになりました。

この集会を通して、自他の良さへの気づきとつながりがさらに深まっていくことを願っています。

田植えをがんばりました

6月29日(月)1・2校時、全校児童がたてわり班に分かれ、田植えを行いました。もみまきから約1か月、妹尾さんがお世話をしてくださってすくすく育った苗を、1本ずつ丁寧に植えていきました。最初は、泥に足を取られたり、植えるのに時間がかかったりしていましたが、慣れると手際よく植え進むことができました。



地域推進員の海原さんや7名の保護者ボランティアの方が、田植え綱の移動や、苗箱の運搬、手洗い用の水の交換などをしてくださったおかげで、子どもたちは担当教員とともに田植え作業に専念でき、事故なく安全に終了することができました。ありがとうございました。

また田植え終了後、3～6年生は田植えをした田んぼに隣接する妹尾さんの田んぼで、思い切り泥遊びを楽しませていただきました。最後は5・6年生が、平らにならしてくれて終了。泥遊び後の衣類の片づけまでお手伝いくださったボランティアの皆様、暑い中長時間大変お世話になり、ありがとうございました。

歯と口の健康を心がけよう



毎年6月4日から10日までは「歯と口の健康週間」です。体づくり委員会児童が、6月30日(火)の児童朝礼後、自分たちで作成したスライドを基に、歯と口の健康の大切さを訴えました。

最初は動物や人間の歯に関するクイズで聞き手の興味を惹きつけ、歯の健康維持のために

必要な知識を学べるように工夫されていました。学童期からの食生活や歯みがきの習慣は、生涯にわたって健康の保持増進に大きく関わります。いつまでも自分の歯で食べたい物が食べられるよう、健康な歯を維持していきましょう。

液肥スタンドをご利用ください

分別収集した生ごみ由来の液体肥料(バイオ液肥)のスタンドを7月上旬からプール前に設置していただきます。学校で育てている花野菜に使わせていただくほか、広く地域の方々にもお使いいただけます。どうぞご利用ください。